



モーツァルト・セミナー

旅の始まり — 西方への大旅行

～ LPレコードとピアノ生演奏で繋ぐモーツァルトの人と作品～
 ピアノ演奏とお話：江端津也子

第2回：旅が幼いモーツァルトに教えてくれたものとは？

今年6月に行ったモーツァルト・セミナー第1回では、「天才の芽生え」と題し、「モーツァルトは生まれた時から天才だった？」をメインテーマに、お話と生演奏、そしてLPレコードを鑑賞しながら、モーツァルトの魅力に触れるスタートとなった。

今回、10才になったモーツァルトが家族（父レオポルト、母アンナマリア、姉ナンネル）と共に生まれ故郷ザルツブルグを離れて、ヨーロッパの国々、ドイツ、ベルギー、フランス、イギリス、オランダ、スイスを訪れ、各国の音楽はもとより、文化、言語、地理、歴史に触れて、幅広い教養と知識を身につけていく時代にスポットを当てる。

父レオポルトの旅の目的は、2人の成長を目指すと同時に、才能あふれる2人の子供たちを世間にお披露目し、名声と報酬を得ることにあつたことは明らかである。

今回のセミナーの生ピアノ演奏（江端津也子による）曲目は、ピアノの為の変奏曲 K24、ヴァイオリン装飾付きソナタのピアノパートのみの演奏等を予定している。この試みは、これらのソナタが充分ピアノのみでも成り立つ作品であることを確かめることを目指し、大変珍しい演奏になると思われる。

LPレコードでは、このソナタを本来のヴァイオリンとピアノでの形で鑑賞して、ピアノのみでの演奏との比較を行ってみたい。第1回で好評だった中村澄枝氏（カーサ・モーツァルト設立者）のお話…ご自身のヨーロッパ旅行（モーツァルトの旅の再現）について…も交えて、セミナー第2回が実り多きものとなるよう皆様のご参加を心からお待ちしています。

★ LPレコードによる鑑賞（カーサモーツァルト所蔵の往年の名演奏 LP）

ヴァイオリン伴奏付き、あるいはヴァイオリンとチェロ伴奏付きソナタより数曲
 声楽曲 - K20 モテット、K21 コンサートアリア

★ ピアノ生演奏（講師—江端津也子による）

ヴァイオリン伴奏付きソナタのピアノのみによる演奏（実験的試み）
 「グラーフの歌謡主題」による8つの変奏曲 K24 小品 K33b

江端津也子：ピアニスト

東京出身。3歳の時母の手ほどきでピアノを始める。第22回日本学生音楽コンクール入賞。都立芸術高校音楽科を経て東京藝術大学音楽学部器楽科卒。同大学院音楽研究科ピアノ専攻修了。ウィーン国立音大ゼミコンクール第1位。1983年カーサ・モーツァルト開館記念コンサート演奏を機に活動を始め、リサイタル、自主企画サロンコンサート、NHKFM 午後のリサイタル、フレッシュコンサートに出演。ポーランド大使館招聘演奏など、ソロ、室内楽、伴奏の活動を行い後進の指導にも力を注いでいる。モーツァルト生誕250年の2006年にピアノソナタ全曲を完奏。モーツァルト作品、近代フランス作品の演奏を数多く手がけ度々演奏会で取り上げている。ピアノを安川加壽子、奥村洋子、河村昭三の各氏に室内楽をアンリエット・ピュイグ＝ロジェ女史に師事。現在、日本演奏連盟、日本フォーレ協会、日本ピアノ教育連盟、モーツァルティアン・フェライン会員。

日時：2017年 12月2日（土） 14:00～16:00

参加費：2,500円 ペアでお申込み 4,000円（2名）※要予約

ご予約・お問い合わせ

Email: info-cmma@casamoz.org

Tel: 03-3402-1756 Fax: 03-3497-1833

東京都渋谷区神宮前 1-10-23 3階

URL: <http://casamoz.org/>

